

徳島県立那賀高等学校

# せせらぎ新聞

第66号

発行/那賀地域中高一貫教育  
研究委員会事務局  
(徳島県立那賀高等学校内)  
電話: 0884-62-1151  
FAX: 0884-62-2590  
那賀高校ホームページURL  
http://naka-hs.tokushima-ed.jp/

## 「新生那賀高校」本格的にスタート!

「生徒一人一人の夢の実現」を図りながら、地域とともに歩む学校」をめざして



校長 乾 修治

以前、徳島県教育委員会で勤務をしていたとき、「那賀高校の活性化計画」をはじめとする、那賀高校に関わる「様々な業務」に取り組み始めていました。那賀高校での勤務は初めてですが、校長として四月に赴任し、「那賀高校」に対して強い縁を感じています。本校教職員と手を携えて、「生徒一人一人の夢の実現」のために精一杯頑張りますので、どうぞ、よろしくお願ひいたします。

さて、平成三十一年三月に、森林クリエイト科の一期生を含む七十一名の生徒が卒業しましたが、四月八日新たに、森林クリエイト科二十名、普通科四十八名の生徒が入学し、全校生徒二百二名で、「新生那賀高校」が、いよいよ本格的にスタートします。今年、元号が「令和」という言葉には、「希望に満ち溢れた新しい時代になるように」という意味も込められています。那賀高校が、「希望に満ち溢れた学校になること」を心から祈念します。まず、「森林クリエイト科」ですが、皆さんの関係機関の方々から身に余る協力をいただきながら、「持続可能な循環型社会の形成に向けて、人と森林の新たな関わり方を創造し、地方創生を担う人材の育成」をめざしています。徳島県や徳島県教育委員会からも手厚い支援をいただいております。

測量実習棟、レーザー加工機や3D切削加工機など、最新の施設・設備を有する恵まれた環境のもと、本校教職員の「献身的な指導」と生徒の「将来を見据えた頑張り」により、一期生は、徳島県庁や兵庫県庁における林業系の技術職をはじめ、林業関連企業や大学校等に就職・進学しました。

さらに、本校が地元企業と一緒に商品開発をした「とくしまパズル」が、このたび「とくしま特選ブランド」に認定され、販売されることになりました。また、「拝宮和紙の制作」や「木頭スギの箸づくり」も継続して行っており、地域の伝統文化・技術の継承を通して、木育活動を実践し、森林資源の魅力を次世代に伝えていきたいと思ひます。

次に、「普通科」ですが、進路に応じた教科が勉強できる「コース選択制」を導入しています。生徒一人一人が自分の可能性を見つけて出し、能力を伸ばし、そして個性を生かしながら学べる「教育課程」となっており、しっかりと努力し夢を実現してもらいたいと思ひます。二年生からは、「情報ビジネス」「福祉」「総合教養」「応用」の四つのコースに分かれ、より専門的・実践的に将来の進路に備えます。常に、「主体的・対話的で深い学び」を意識しながら、絶えず、「生徒がわかる授業」を心がけていきます。

また、町内の福祉施設における「介護実習」や「ボランティア活動」、服のリサイクル活動である「服活」、自然災害等に備えた「防災食の開発」などにも、地域の方々の協力をいただきながら、引き続き、力を入れていきたいと思ひます。

運動部・文化部ともによく頑張っています。県高校総体においては、カヌー部の男子が二十一連覇を、同じく女子が八連覇を達成しました。女子バドミントン部もダブルスが、県ベスト8に入りました。平成三十年三月には、徳島県と那賀町が、普段、本校カヌー部が練習をしている「川口ダム湖」に、大変立派な「とくしま・なかカヌーセンター」を設置してくれました。ご承知のように、この「川口ダム湖」は、「東京2020オリンピック・パラリンピック」における「ドイツ代表チームの事前キャンプ地」に選ばれており、本校カヌー部にとっても大変名誉なことだと喜んでいきます。人形浄瑠璃部も地域に密着した活動を展開しており、四月末には、「八面神社農村舞台」で公演をさせていただきましたが、観客の皆様方には大きな声援をいただきました。これからも可能な限り、いろいろな農村舞台で公演させていただきたいと思ひます。

国際交流も例年同様、積極的に行う予定です。八月十日からは、カナダ一員五名と教員一名がドイツを訪問するとともに、九月二十九日から、ドイツ二員一員が九州の高校生のカヌー代表チームが来校し、カヌー交流を中心とする「文化交流」を行います。また、ほぼ同時期ですが、九月二十八日から、姉妹校であるオーストラリアのセントメアリーズ校から生徒九名と教員二名が来校し、授業参観やホームステイを通して交流を深めます。このような国際交流活動は大変貴重な活動であり、学んだ成果を本校生や地域の方々に、様々な形で還元できればと考えています。

那賀高校は、地域の皆様方に支えられ、地域の皆様方とともに歩んでいく学校です。我々は、「協調・研学・誠実」の校訓のもと、「生徒一人一人の夢の実現」を全力でサポートしてまいりますので、今後とも変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

### 入寮式

四月八日(月)、竜峰・若鮎新入寮生十七名を歓迎し、入寮式を寮内の食堂で開催しました。新入寮生のほか、保護者や教職員も出席し、新入寮生を激励しました。その後、新入寮生を代表して川田星那くんが新生活への決意を述べました。続いて寮生長の東田勇希くんが、寮での規則やマナーについて話をしました。また、四月十一日(木)には、新入寮生歓迎会があり、寮生・教職員で楽しいひとときを過ごしました。

### 入学式

四月八日(月)、入学式が行われ、普通科四十八名、森林クリエイト科二十名の計六十八名が那賀高校生として新たなスタートをきりました。新入生代表宣誓は普通科の森本結仁くん(相生中)です。那賀高校で地域創生の担い手としての自覚を持ち、勉強や部活動に励む決意を述べてくれました。

祝 徳島県立那賀高等学校入学式

### 四国総体を終えて

#### 第15回 四国高等学校カヌー選手権大会

●令和元年6月15日(土)、16日(日) 於:川口ダム湖カヌー競技場

大雨の影響により、流木などでコースが被害を受け、初日は中止となりました。しかし、徳島県カヌー協会、各チームの先生方、本校の卒業生など多くの方々께서コース復旧に尽力していただき、2日目に大会を開催することができました。本校からは3年生4人、2年生6人、1年生2人が出場しました。多くの種目で自己ベストを更新するとともに、男子C-1で中田隆真が2位入賞、女子K-2で高原寿美香・笹田采汐ペアが3位入賞しました。

人々の結束力により、自然の猛威に打ち勝ち、選手たちもその思いに応える白熱した素晴らしいレースを見せてくれました。多くの方々に感動を与える素晴らしい大会を、この那賀町で開催することができたことに喜びと誇りを感じました。

### 徳島県高等学校総合体育大会

<h4>ソフトテニス部</h4> <p>県総体では団体戦は勝ち進むことができませんでしたが、個人戦は女子2ペアがベスト32まで勝ち進むことができました。その他のペアも練習の成果を出し切り、チーム全員楽しんで試合することができました。応援くださりありがとうございました。</p>	<h4>卓球部</h4> <p>全力を出しきり、悔いの残らない試合をすることができました。応援していただきありがとうございました。</p>	<h4>剣道部</h4> <p>県総体では、部員それぞれが持っている力を出し切り、団体戦で1勝することができました。3年生が引退し、代替わりしますが、剣道部は日々の稽古に励みますのでこれからも応援よろしくお願いします。</p>	<h4>バドミントン部</h4> <p>県総体では、男女ともに全力を出し切って挑むことができました。3年生はこの大会で引退となりますが、この経験を生かし進路実現に向けて頑張りしたいと思います。応援してください。支えてくださった方々、本当にありがとうございました。</p>
<h4>弓道部</h4> <p>県総体では、2年ぶりに女子が団体戦に出場し、皆中者も出るなど健闘しました。男子も3名が個人戦に出場しました。それぞれ、入賞を果たすことはできませんでしたが、次につながる射を実践できました。応援してくださった方々、本当にありがとうございました。</p>	<h4>バレーボール部</h4> <p>バレーボール部は、グループ予選で負けずまいでしたが県総体では多くのことを学び、個人でもチームでも課題を見つけることができました。次の大会で、3年生は最後となります。これまで支えてくださった方々へ感謝ができるように、チーム一丸となって頑張ります。ご声援よろしくお願いします。</p>	<h4>カヌー部</h4> <p>シングル、ペア、フォアとも全力でレースに臨むことができました。インターハイに向けて、更なるレベルアップを目指して練習に取り組み、全員が悔いのないレースができるように頑張ります。</p>	<h4>硬式野球部</h4> <p>県総体ではとても悔しい結果に終わりました。この悔しさをバネに最後の追い込みをかけ、夏の選手権大会では今まで応援していただいた方々、支えてくださった方々の想いを胸に全力で戦います。</p>

# 遠足

1年生 6月21日(金)

天候にも恵まれ、心地よい風が吹く中で太龍寺への徒歩遠足を実施しました。ロープウェイでスリルを感じながら太龍寺へ向かい、記念撮影や自由散策を行いました。下山後、昼食をほさみ、各クラスで準備してきたレクリエーションを満喫しました。11HRはジャンケン列車、12HRはしっぽ取り、13HRはクラス対抗リレーを行いました。疲労がある中での帰り道は遠く感じ、皆ゆっくりした足取りでした。自分たちで企画を運営し、また、楽しんで参加することができ、充実した遠足となりました。



3年生 6月21日(金)

3年生は、EXPOCITYに行ってきました。到着後、太陽の塔を背景にクラスごとに記念撮影を行いました。天候にも恵まれ、笑顔あふれる記念写真となりました。その後の各グループに分かれての自由研修では、二フレルで珍しい生き物に魅了されたり、お店を回ってお目当ての服や雑貨を選んだり、おいしいものを食べたりと、思い思いに楽しい時間を過ごしていました。たくさんの楽しい思い出を作ることができた、笑顔の絶えない一日でした。



# 服活

6月30日(日)にもみじ川温泉にて、あららぎ工房チャリティーイベントに参加させていただきました。雨の降る中足を運んでいただき、ありがとうございました。初めて利用していただいた方から「環境に優しい活動だね」「着ない服を提供したい」といったうれしいお声をいただきました。今年度も那賀町や阿南市のイベントに参加予定です。ぜひお越しください。



# 2年生 修学旅行

6月18日(火)から21日(金)にかけて、東京方面へ修学旅行に行きました。天候が心配されましたが、4日間で一度も雨に降られることなく、全日程を無事に終えることができました。宿泊を伴う団体での活動を通して、クラスの友情が深まり、思い出に残る充実した旅行になりました。

6月18日(火)

学校を出発し、徳島阿波おどり空港から約1時間のフライトを経て羽田空港へ到着。お台場で昼食をとり、車窓見学をしながら伝統工芸体験へ向かいました。2班に分かれて屏風・人形づくりに触れたのち、東京スカイツリーを見学しました。日本の「伝統」と「最先端」を肌で感じた一日でした。



6月19日(水)

終日、東京都内自主研修でした。渋谷や秋葉原で買い物をしたり、原宿で最新グルメに舌鼓を打ったり、神宮球場でプロ野球を観戦したりと、皆思い思いに過ごしたようです。慣れない電車を乗り継いで大都会を歩き回ったためか、帰着時にはもうくたくたといった様子でしたが、その表情は爽やかで晴れ晴れとしていました。

6月20日(木)

東京ディズニーシーでは「セブンスデー 2019」が開催されており、生徒たちは季節感のある装飾やショーに心を躍らせました。キャラクターグッズを身にまとい、アトラクションやショッピングに夢中になる姿は、まさに夢の国の魔法にかかったようでした。



6月21日(金)

最終日は、古都・鎌倉へ行きました。大仏の大きさに圧倒されつつ、源氏ゆかりの鶴岡八幡宮を参拝し、小町通りを散策しました。昼食は横浜中華街で円卓を囲み、本格中華をいただきました。その後も食べ歩きや記念撮影をしながら、異国情緒あふれる横浜の街を満喫しました。

4日間を通じて、生徒たちの楽しそうな表情が印象的でした。「百聞は一見に如かず」ということわざの意味を実感した、大変有意義な修学旅行になりました。



# UAS操作技能特別講習 (ドローン操作講習会)

那賀町のご協力をいただき、森林クリエイト科3年生を対象としたUAS操作技能特別講習(ジュニアライセンス)を実施しました。3年生は1年次からドローンの操作技術・運用方法についての講習を実施してきましたが、今回は、飛行時間10時間以上の実績を積み、将来の林業現場等で実際に運用するための最終テストという位置づけで実施しました。すでに全国の林業現場では、植林に使用する苗木運搬や、架線ワイヤー張り、森林測量等にドローン技術が活用されています。また、流通や防災など新たな現場での需要も、今後ますます多くなり、運用技術者の育成は重要になっています。今回得た知識や技術を、那賀町をはじめ、徳島県の地方創生に役立てていきます。



# 鷺敷小学校との交流学習

6月10日(日)に鷺敷小学校3年生29人を本校農場に迎えて、森林クリエイト科1年生と一緒にサツマイモ苗(紅あずま)の定植を行いました。生徒が主体となってサツマイモのことや定植の方法をインプリンティングボードを使い、丁寧に説明しながら小学生と一緒に楽しく実習ができました。今後も農業学習を通じた交流学習など地域と連携した様々な取組を実施し、農場を生物教室として提供していきます。秋の収穫に向けてしっかり栽培管理を行い、小学生と一緒にたくさんサツマイモが収穫できればと思っています。



# NIPPON探究 スクール事業

昨年度に引き続き、「近代における『和紙』をテーマに、阿波和紙の歴史及び特徴並びに全国の産地の経済を探究する。」を題材として、那賀町の伝統文化である拝宮和紙を起点とし、学校や地域の活性化を図ることを目的に活動を展開します。昨年度は山川町のアワガミファクトリーだけでなく、土佐和紙を学ぶため「いの町紙の博物館(高知県)」で和紙づくりを体験しました。本校での製作方法とは大きく違う点が幾つもあり、とても良い経験ができました。今年度は技術面だけでなく知識面も深めていく予定です。



# フォレストキャンパス那賀 入山式

平成28年度に整備された森林クリエイト科のメインフィールドとなるフォレストキャンパス那賀で、5月15日(火)に令和元年度入学生の入山式が行われました。これから林業学習でお世話になる南部総合県民局方々等、多数の関係機関の皆様のお出でいただき、盛大に開催することができました。式典の最後に、入学生を代表して仲村君が決意表明を行いました。その後、南部総合県民局の方による講義やフィールドワーク、記念撮影等を行いました。次代の林業を担う若武者の挑戦が始まります。

